

山王海岸は酒匂川と山王川の間に広がる砂浜です。西湘地域で唯一砂丘状の地形となっています。



海岸固有の植物が残されていますが、中には絶滅が危惧されるものもあります。特にハマボウフウは数える程の個体数しか残っていません。極めて限られた場所に少数だけ繁殖する植物です。



ハマボウフウ (セリ科)



ハマヒルガオ (ヒルガオ科)



コウボウムギ (カヤツリグサ科)



ケカモノハシ (イネ科)

砂浜の減少、人の踏み込み、外来植物の侵入、ゴミの散乱などの要因で海岸植物が減少してきています。



西湘バイパスからのゴミの投棄が続きます。



ゴミが深く砂に埋もれてしまっています。



たき火の跡や花火が残されています。



道路からの排水に流されてくるゴミ



砂浜は車両が自由に入れる状態です。



コウボムギの近くを自転車で走っています



バイクが植物群の中を走っています。



自転車やバイクがどこでも入れます。

侵略的外来植物が在来の植物を圧迫しています。この区域では、ある程度の駆除が必要です。



コバンソウがハマヒルガオを覆っています。



コマツヨイグサがハマヒルガオを圧迫しています。



オオフトバムグララのため在来種が消えています。



ニセアカシアなどの樹木も増えています。



コバンソウの駆除をしています。



オオフトバムグラの駆除作業



オオフトバムグラ駆除前



オオフトバムグラ駆除後

永年、地元の方が守ってくださっていましたが、より広く保護するために、有志でお手伝いを始めました。



保護範囲をとりあえず囲いました。



踏まれないように棒をたててあります。



竹の棒で囲いました。



保護範囲の中はは外来植物の駆除をおこなっています



最初は個体のみ小さな範囲でした。



繁殖を考えて、より広い範囲を保護しました。



ハマボウフウが8月に結実しました。



一部を採種して、来年繁殖を試みます。

事例研究 九十九里浜



保護の勉強のために九十九里浜を見学してきました。規模も環境も違うのですが、見事に海岸植物群落が生育して、守られていました。



山王海岸と海岸植物群落の位置



航空写真 2006年 電子国土より



航空写真 1970年代年 電子国土より

